



東京弁護士会による上映会、開催。

高賛侑監督 最新ドキュメンタリー

ワタシたちが ニンゲンド!

WATASHITACHIWA NINGENDA!

入場無料
事前申込制
(先着200名)

2022年10月28日 (金) 19:00~21:30
日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール
(東京都千代田区日比谷公園1-4 霞が関駅B2,C4徒歩5分 内幸町駅A7徒歩3分)



- 私たちが上映会・対談会を開催する理由 -

日本の入管制度に伴う人権侵害に対して、国内外から様々な批判の声が上がっています。これは、外国にルーツを持つ人々や、その関係者だけの問題ではありません。社会における少数者の声にきちんと耳を傾け、国家権力を監視することは、すべての人が、人として尊重される社会の実現と維持のために、不可欠であり、日本の社会全体の問題です。

しかしながら、複雑でわかりにくい在留制度や法律、ほとんど公開されないことのない収容施設などが、見えない壁となって、問題点を知らうとするのを阻んでいるのも事実です。

映画「ワタシたちハニンゲンダ！」は、戦前から現在における日本の入管政策の闇にスポットライトを当てた作品です。その深刻な実態について、当事者や支援者らの「現場の声」が詰まっています。

当事者対談会でも、多くの人生が蹂躪されている日本社会の現実を、実感してください。

◆映画・監督情報

高賛侑（コウ・チャニュー）監督作品（114分）。

テレビ・ラジオ報道番組のコメンテーター出演、新聞・雑誌の原稿執筆多数。

朝鮮学校の歴史と現状を描いたドキュメンタリー映画『アイたちの学校』で2019年キネマ旬報ベスト・テン（文化映画）選出、日本映画復興奨励賞受賞。

◆当事者対談会

対談者：なおみさん（imagine（仮放免者等の在留資格を求める日本人配偶者の会））

聞き手：浦城知子（東京弁護士会）

司会：有園洋一（東京弁護士会）

◆当日スケジュール（10/28）

18:30～ 開場（予定）

19:00～ 映画「ワタシたちハニンゲンダ！」上映

21:00～ 当事者対談会「仮放免者の現実、社会に望むこと」

21:30 終了

お申込み方法

東京弁護士会ウェブサイト（<https://www.toben.or.jp/>）からお申込みください。
（トップページ＞イベント情報から）

※ ご提供いただいた個人情報は、東京弁護士会のプライバシーポリシーに従い厳重に管理し、参加人数把握のために使用します。個人情報は、本イベント終了後、直ちに破棄・消去します。

※ お申込みがない場合、当日、席数の都合で入場できない場合があります。